



愛知長久手ロータリークラブ

2012~2013

WEEKLY



例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=長久手市まちづくりセンター
会長 安田茂樹 幹事 小谷恒夫 会報 吉田濱一
Email : a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446
FAX:0561-64-5459



奉仕を通じて 平和を



本日 第 485 回 例会 2012 年 12 月 11 日 (火 曜 日) 第 478 号

<本日のプログラム> Today's Program

点鐘

<ロータリーソング> 「我らの生業」

演題 : 年次総会

講師 : 会長・幹事

前 回 第 484 例会 2012 年 12 月 4 日 (火 曜 日) 記 録

<ロータリーソング> 「君が代」「奉仕の理想」

総合司会 伊藤 広治クラブ奉仕委員長

<出席報告>

会員総数 22名 (免除会員1名)
出席者 15名 出席率 71.43% 前々回補正出席率 95.4%

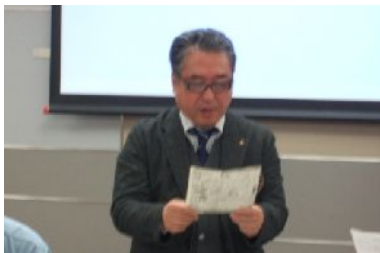


エビフライカレー
サラダ

<来訪者>

<会長挨拶>

愛知長久手ロータリークラブ 安田 茂樹会長



本日は、皆様もよくご存じの韓国のサムスン電子の事を新聞記事からですが紹介させていただきます。

【サムスン 驚異の人材育成】

凋落一途の“日の丸家電メーカー”をしり目に、快進撃を続ける韓国のサムスン電子。強さの秘密は、年間73億円以上もつぎ込む、驚異の人材育成にあった。サムスン電子は「地域専門家」(リージョナル・スペシャリスト)と呼ばれる現地駐在員を世界中に赴任させている。情報量と人脈は、CIA(米中央情報局)に匹敵する規模だという。世界一といわれる同社の営業力を支えるのが、この地域専門家だ。まず、若手社員の成績優秀者の中から予備軍を選抜、3か月間の語学研修後、攻略市場の国や地域に1年間派遣する。日本も含め、現地法人に駐在すると、先ず研修社員として業務を学ばせる企業が圧倒的だが、サムスンは社員は業務を行わない。1年間、現地の人との交流から文化や習慣を徹底的に学ぶのだ。これにも厳しいルールがある。給与や生活費は保証されるが、人脈構築は現地法人に頼れない。どんな人物や組織と交流するかは、自分で探し出す。言葉や文化が異なる土地で単身暮らしという“修羅場”を通じて、ビジネス以前の異文化対応力を磨く。帰国後は現地駐在員として再赴任。1年間の経緯をベースに地域専門家としてさらに磨きをかけ、いよいよビジネスに生かし、すでに4000人以上が、世界各地に派遣された。同社は手っ取り早い成果主義でも有名だ。“上がり”のポストなど存在せず、役員も業績を厳しく査定され、評価が低ければ解任されることも珍しくない。課長から上級幹部に至るまで、研修は凄まじいという。部長職を対象にした役員養成コースは、就任2、3年目の部長から約200人を選抜、3週間の合宿を含み16週間の研修を行い、常務クラスは4週間の合宿研修、専務や副社長ですら、5日間の合宿研修が1年に3回問徹底ぶり。経営のプロを絶やさないう実施的訓練を常に行い、研修には同社CEOをはじめ、各事業部門のトップが講師として参加する。社員研修を外部にアウトソーシングしている日本企業がサムスンを真似するのは難しいでしょう。サムスンの社員教育は、新入社員にも徹底される。海外採用を含む8000人もの新入社員は、同社の研修施設「人力開発院」に3週間泊まり込み、外出禁止、缶詰め状態で、経営理念やチャレンジ精神、チームワークといった“サムスン精神”を徹底的に叩き込まれる。起床は朝5時。山道ランニングと朝食の後、夜9時までプログラムがびっしり。宿題が毎日課され、社員の睡眠時間は3時間程度。精神と肉体の限界ぎりぎりまでしごかれる。脱落者も当然出るという。総仕上げは、毎年6月開催の「夏季修練大会」新入社員は会長、グループ企業のCEOや海外拠点の幹部ら約1万人を前に、2日間かけてマスゲームなどの大パフォーマンスを演じる。大勢の社員が一糸乱れぬ共同作業を通じて、共通のテーマを表現するという独特な催し。サムスングループとしての一体感の醸成と、サムスン人としての誇りを植え付けるのが狙い。運動会など、日本企業が催す親睦イベントとは百八十度違い、全員真剣そのものです。研修方法はいろいろあるでしょうが、昔の日本の企業だってそんな感じであった。それくらいしないと、もはや世

<委員会報告>

◆ニコボックス委員会

- ・年末になり忙しいとは思いますが、出席ありがとうございます。本日もよろしくお願いします。
 - ・本日もよろしくお願いします。
 - ・急に寒くなりましたネ。お互い体に気を付けてください。山田さん卓話楽しみにしています。
 - ・本日もよろしくお願い致します。
 - ・本日もよろしくお願い致します。
 - ・山田さんの卓話楽しみにしております。寒くなりましたのでお互い風邪に気を付けましょう!!
 - ・本日 大変涼しい中、例会出席ご苦労様です。今日も楽しく生きましょう!
 - ・本日もよろしくお願いします。
 - ・山田さんの卓話よろしくお願ひします。
 - ・とても寒い日になりましたね。山田文明さんRLI分科会報告ご苦労様です。本日もよろしくお願ひ致します。
 - ・本日も宜しくお願ひします。山田さん卓話楽しみにしております。
 - ・本日卓話担当です。よろしくお願ひ致します。
 - ・本日もよろしくお願ひします。
- “ 師走には 忘年会とクリスマス 胃腸くすりに 頼る年頃 ”

安田 茂樹

伊藤 広治

大島 昭夫

白石政二郎

田中 信子

中川 清子

丹羽 司一

林 正俊

日野 典子

松原 正敏

宮下智香子

山田 文明

小谷 恒夫

(敬称略)

<幹事報告>

小谷恒夫幹事

1) 例会終了後後例会後役員・理事会

2) ガバナー月信 回覧

3) 愛知長久手RC協賛「ながくて冬まつり」12/8～1/14案内

【はなみずき広場、くすのき広場、文化の家、香流川市内各所に温かなイルミネーションとイベントがきらめく38日間】

<卓話> 演題 : RLI分科会研修報告

講師 : 山田 文明会長エレクト

皆さんこんにちは!今日は先に行われました第2期R.L.I.2760分科会研修の報告をさせていただきます。この研修は当地区がRIのパイロット地区の指定を受け、昨年度は現安田会長がうけられました。会長エレクトの研修として、9月、10月、11月の3回にわたり、朝から夕方まで1日各1時間、6コマの講座でした。階段の上り、下りの連続でおかげ様で足腰が鍛えられました。

この研修の目的は一言で言えば、会長が新入会員にロータリークラブに事について聞かれた時に応対出来る様に、最低限の知識を学ぶ事を目的としております。ロータリアンの自主性と卓越した指導性を涵養しクラブの刷新性と柔軟性を育て、ロータリーを活性化する事が大切です。

又、研修方法は講演や講義ではなく、斬新な討論方式を活用して参加者による「草の根のディスカッション方式」で行われました。このR,L,I,研修の特色としては従来の講義を聴くスタイルではなく、決められたテーマについてみんなで意見を出し合って討議する形式で参加者は解答の結論を求めるのではなく、課題に対する参加者の発言から、自分自身の解答や方向性を見出す研修方法で今後他の委員会でも取り上げたら良いと思います。このR.L.I.の研修での3日間2670地区の約80名近くの会長エレクトの皆さんとの研修を通して、様々なクラブの活動やそれぞれのリーダーの考え方に接する事が出来たお陰で、沢山の学ぶことが出来ました。又、皆さんと来年の会長と言う目に見えない緊張感を同志として共有する事が出来、とても心強く思いました。さらに、この研修会を受けて、私達愛知長久手ロータリークラブの特色に気がきました。次のような事が心に残っています。親クラブからの先輩がいないので、なんでも気楽に行動できる。自分達で自分の為に学ぶ事が出来る。ロータリークラブは自分を磨ける所。参加意識を持つ為に毎週の例会を大切に。その為には出席はハッキリする。メークアップを必ずする。ロータリアンのステータスは自分自身で作る。有名ホテルで例会をするのが全てではない。

私達、愛知長久手ロータリークラブは、まだ創立11年の若いクラブで又、少人数での活動ですが、自分達の身の丈にあったロータリー活動をコツコツと一つずつ積み重ねて行く事が一番大切なことと思いました。その為には、ロータリーの原点である「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」を今一度、クラブメンバー全員でよく理解しあう事の大切さを身にしみて思いました。

又、2008年国際協議会にて渡辺好政元RI理事から提唱された「ロータリーの樹」は一目でロータリーの全体像が分かり易く描かれており、私達のクラブの指針となるものと思います。



12月16日(日)	12月25日(日)	1月1日(火)	1月8日(火)
12月18日(火)振替 年末家族会17:00～ (銀座アスター名古屋賓館)	規定休日	法定休日	卓話担当:佐藤文昭さん (トヨタ博物館)